

2020年 2月13日(木)

1. 研究目的

本研究の目的は、Android Studio と呼ばれる、Google 社が提供する Android アプリ開発用の統合開発環境を利用し、ウィジェット機能を持つ大学生用の時間割アプリケーションを開発することだ。開発の理由として、時間割のアプリケーションはたくさんあるが、ウィジェット機能を利用しているアプリケーションは少ないように思えたため、簡単な操作で設定ができ、一目見てわかるようなウィジェットを開発し、大学生活を少しでも快適に過ごすためのツールとして利用してもらいたいと思い、開発に至った。

2. アプリケーション概要

本研究で開発した時間割アプリケーションの構成は図1のようになっている。時間割設定、授業時間設定、メモ帳機能、ウィジェット機能の4つの機能があり、前半の3つの機能はアプリを起動した際にそれぞれ選択することができ、ウィジェット機能は端末のホーム画面から設定することができる。

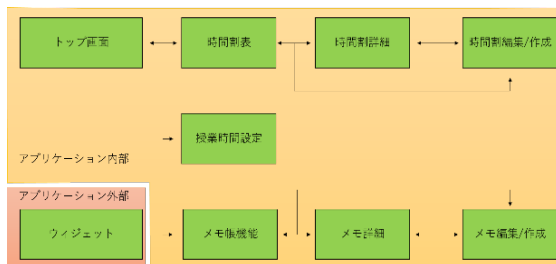


図1

3. 各機能説明

時間割機能では、月曜日の1限目から金曜日の6限目までの30コマを設定でき、(図2)各コマをクリックすることで、作成および編集ができるようになっている。入力できる項目は、教科名と授業場所の2項目となっている。

時間設定機能では、1限目から6限目までの授業開始時間を設定することができる。授業時間を別途設定することで、終了

時間が自動で設定される仕組みになっている。

メモ帳機能では、簡単なメモ書きを残すことができ、キーワードとリンクを設定することで何曜日の何限目のメモなのか、それが課題なのか提出物なのかなど分かりやすいメモ書きが残せるようになっている。キーワードは追加と削除が可能になっている。

ウィジェット機能では、今日の日付と現在行われている授業が表示されており(図3)ボタンをクリックすることで次に行われる授業が表示される。再度クリックすると現在の授業の表示に戻る。また、通知で授業の開始をお知らせする機能がついている。



図2



図3

4. 課題点

課題が多く残る研究となった。デザイン面では、デザインが単一であるため華やかさがなく、ユーザーが使ってくれるようなデザインに仕上げることができなかった。機能面では、土曜の日程が設定できない、時間割が設定されていない状態であっても通知が起動する、開始時間しか通知が来ない、メモ帳のキーワードやリンクによる検索機能など、実現できなかった機能がたくさんあり、不安の残る結果となってしまった。